

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 現代の教育問題研究所

1 事業の成果

今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、従前のような活動が大きく制限される状況下ではあったが、制約のある環境の中でも団体として活動を継続することができた。昨年度の経験や実績を活かして、法人の理念に基づいた各種事業活動を行うことができた。

広報活動としての、法人の理念や趣旨、認知度の向上や会員及び賛同者の拡大を目的とした協働ネットしがのホームページを利用した定期的な活動情報の発信や、団体独自のホームページでの法人の情報や活動状況の公開は、今年度も継続して積極的に行うことができた。

事業としては、当法人設立当初より継続して行っている国語力・心の教育の指導技術の向上および継承に向けた各種研究会について、他団体との合同研究会等は多人数での参集が困難な状況が続いていたため今年度も中止せざるを得なかったが、月例研究会はリモート形式の活用や感染対策を十分講じた上での参集形式でコンスタントに開催することができ、教育環境を取り巻く状況、今年度はとりわけウィズコロナやアフターコロナを見据えた教育の在り方やその論点等について包括的視野から意見交換や議論を行い、そこから生じた個別の課題については教師塾や研修会の開催等を通じて活発な取り組みを行った。

国語力・心の教育の実践を広く行う事業として、今年度も「琵琶湖さざなみ俳句大会」は新型コロナウイルス感染症拡大の予防から中止せざるを得なくなったが、「子ども俳句大会」については前年度に引き続き投句形式で春夏と秋冬の2回開催して大きな成果を上げ、今後の当法人の事業活動の根幹の1つにまで発展させることができた。

当法人設立初年度末より開始した特別支援や不登校の子弟に対する心の教育支援のための教育相談事業及びその関連事業については、京都女子大学附属小学校へ4名の教職経験者を週4日教育相談員として派遣する形で継続して行うことができ、当法人の事業活動の軸の1つとして今年度も安定した成果を上げている。またこの数年実施の検討を重ねてきたフリースクールや学童保育の枠組みを超えた新しい児童の居場所(学習教室さざなみ)も試行段階ではあるが今年度より開設し、今後の活動につながる道筋をつけることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施年月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲及び数	支出額(千円)
国語力・心の教育の指導技術の向上および	さざなみ国語教室月例研究会の開	毎月(計12回)	リモート形式及び第二事務局	10人	教育関係者及び国語力・心の教育に関心のある滋賀県	12.4

び継承を行う事業	催				及びその近隣地域に在住の市民 各回10人～24人	
	国語力育成研究会等の開催	8月7日、9月9日、11月19日、12月2日、1月18日	Zoomミーティング	5人	教育関係者及び国語力・心の教育に関心のある滋賀県及びその近隣地域に在住の市民 各回5～18人	10.8
	授業講座の開催	2月4日	Zoomミーティング	3人	教育関係者及び国語力・心の教育に関心のある一般市民 7人	6.0
	リモート授業研究会の開催	2月6日	Zoomミーティング	3人	教育関係者及び国語力・心の教育に関心のある滋賀県及びその近隣地域に在住の市民 7人	8.8
	授業づくり支援等のための教師塾等の開催	4月20日	LINE	5人	教育関係者 5人	20.1
		4月25日	LINE	3人	教育関係者 3人	10.6
		8月5日	主たる事務所	5人	教育関係者 5人	36.1
		1月6日	主たる事務所	5人	教育関係者 5人	4.8
		2月14日	主たる事務所	4人	教育関係者 4人	3.8
		3月13日	主たる事務所	7人	教育関係者 7人	9.2
国語力・心の教育の実践を広く行う事業	学校での環境等に関する教育相談の実施	通年 (計24回)	主たる事務所、各家庭訪問	各回1人～4人	学校での悩みを抱える児童及びその親並びに教育関係者 各回1人～7人	45.2

	学習教室さ ざなみの試 行開設	10月13日 より	個人宅	1人	学校での悩みを抱 える児童及びその 親並びに教育関係 者 各回1人～3人	6.6
	子ども俳句 大会の開催 (春夏の俳 句・秋冬の俳 句の2回)	7月19日～ 9月10日、 10月1日～ 12月10日	投句形式	10人	国語力・心の教育 に関心のある一般 市民 のべ4405人	70.8
国語力・心の 教育の重要性 を広く周知す る事業	機関紙「さざ なみ国語教 室」の製作・ 発行	毎月25日 (計12回)	主たる事務所	10人	会員及び一般市民 各800部	120.5
	文化交流会 の開催	8月4日、2 月24日	Zoomミーテ ィング	5人	教育関係者及び国 語力・心の教育に 関心のある滋賀県 及びその近隣地域 に在住の市民 のべ17人	79.7
	全国青少年 読書感想文 コンクール 滋賀大会審 査会の開催	11月5日	滋賀県立図書館	10人	教育関係者及び国 語力・心の教育に 関心のある滋賀県 及びその近隣地域 に在住の市民 25人	33.0
	教育講演会 の開催	2月21日	京都女子大学附 属小学校	5人	教育関係者及び国 語力・心の教育に 関心のある滋賀県 及びその近隣地域 に在住の市民 130人	53.5

3 実施体制に関する事項

(1) 総会の開催状況

総会区分	開催日時	開催場所	出席者数	議事内容
通常総会	5月29日	第二事務局	正会員総数28名中25名 (うち表決委任者13名)	・令和2年度事業報告、計算書類の承認 ・令和3年度事業計画(案)、活動予算(案)、役員改選

(2) 理事会の開催状況

	開催日時	開催場所	出席者数
第1回理事会	4月3日	琵琶湖ホテル	3名
第2回理事会	2月17日	リモート形式による理事会	3名
第3回理事会	3月12日	リモート形式による理事会	3名

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 現代の教育問題研究所

(単位:円)

科 目	金 額		注 記
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	300,000		
正会員受取入会金	1,000		
賛助会員受取会費	24,000		
ジュニア会員受取会費	1,000		
学生会員受取会費	0	326,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	574,000	574,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0	0	
4. 事業収益			
指導技術の向上・継承事業収益	0		
教育の実践事業収益	0		
教育の周知事業収益	0	0	
5. その他収益			
受取利息	15		
雑収益	0	15	
経常収益計			900,015
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費会場費	75,521		
旅費交通費	96,578		
通信運搬費	97,832		
印刷製本費	1,835		
消耗品費	31,948		
謝礼金	0		
新聞図書費	128,925		
研修費	0		
諸会費	53,200		
手数料	1,863		
雑費	44,210		
その他経費計	531,912		
事業費計		531,912	
2. 管理費			
(1) 人件費			
事務人件費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費会場費	3,330		
旅費交通費	43,939		
通信運搬費	28,418		
印刷製本費	0		
消耗品費	44,742		
諸会費	0		
手数料	84,865		
業務委託費	26,400		
使用料	0		
水道光熱費	0		
雑費	10,932		
その他経費計	242,626		
管理費計		242,626	
経常費用計			774,538
当期正味財産増減額			125,477
前期繰越正味財産額			806,526
次期繰越正味財産額			932,003

様式（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 現代の教育問題研究所
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,232,003		
流動資産合計		1,232,003	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
3. 繰延資産			
開業費	0		
繰延資産合計		0	
資産合計			1,232,003
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
役員借入金	300,000		
固定負債合計		300,000	
負債合計			300,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		806,526	
当期正味財産増減額		125,477	
正味財産合計			932,003
負債及び正味財産合計			1,232,003

様式（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（計算書類の注記）」）

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
役員借入金	300,000	0	0	300,000
合計	300,000	0	0	300,000

3. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引	
(貸借対照表)			
役員借入金	300,000	300,000	※全額理事長からの借入金
貸借対照表計	300,000	300,000	

以上

様式（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

財産目録
 令和4年3月31日現在
 特定非営利活動法人 現代の教育問題研究所
 (単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	86,316		
普通預金 滋賀銀行 錦織支店	1,145,687		
流動資産合計		1,232,003	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
3. 繰延資産			
開業費	0		
繰延資産合計		0	
資産合計			1,232,003
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	300,000		
固定負債合計		300,000	
負債合計			300,000
正味財産			932,003